

今年は「会場参加」・「対面」で開催します！

「ボランティア全国フォーラム 2022」開催案内

「広がれボランティアの輪」連絡会議

1. テーマ

今、あらためてボランティアのこれからを考える



2. 趣旨

時代の変化や社会課題の多様化により、ボランティアを取り巻く環境は大きく変化してきました。現在、自己実現を得るための取り組みをはじめ、社会変革を求める取り組み、地域課題を解決する取り組み、地域住民の役割としての取り組み、生活者の責任としての取り組みなどのすべてが、ボランティア活動として取り組まれています。

一方、持続可能な取り組みを維持するために活動の事業化が進むことで、主な担い手がボランティアではなく有給のスタッフとなり、結果として市民参加の機会が限定的になりつつある状況も生じています。また、地方では人口減少や少子高齢化などさまざまな問題を抱えるなか、従来型の地域の助け合い活動も維持することが難しく、新たにボランティアを広げることも容易ではない状況があります。国では多様な課題解決のために、公助から自助・共助による課題解決のあり方を打ち出しています。

ボランティア全国フォーラム 2022 では、「広がれボランティアの輪」連絡会議創設 30 年を迎える 2024 年に向けて、これらの変化するボランティア活動の役割や課題を明らかにするとともに、これからの市民社会を展望したボランティア活動を考えます。

3. 主催

「広がれボランティアの輪」連絡会議 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

4. 日程

2022 年 11 月 18 日（金）・11 月 19 日（土） 2 日間

5. 開催方法

会場参加により開催

※ なお、第 1 日（11/18 日（金））の全体会のみ、オンライン（Zoom）で参加できます。

6. 会場

第 1 日（11/18 日（金））東京ウィメンズプラザ（東京都渋谷区神宮前 5-53-67）

最寄駅：東京メトロ 表参道駅

第 2 日（11/19 日（土））全国社会福祉協議会 会議室（東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル）

最寄駅：東京メトロ 虎ノ門駅/霞ヶ関駅/国会議事堂前駅

7. プログラム

第1日 11月18日（金）13:30～17:00 全体会（会場参加／オンライン参加）

| 時間 | 内容 |
|------------------------------------|---|
| 13:30 | 開会 |
| 全体会「今、あらためてボランティアのこれからを考える」 | |
| 13:30～ 14:00 (30分) | <p>■キー（鍵）コンセプトスピーチ 「変化するボランティア活動とこれからの市民社会」 変化するボランティア活動と、市民社会を創るためのボランティアの役割について提案します。</p> <p>【登壇者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野谷加代子さん（「広がれボランティアの輪」連絡会議 会長） |
| 14:00～ 15:10 (70分) | <p>■オープンディスカッション（第1部） 登壇者（ボランティア活動の場に直接携わる方々、及び学識者）による討論と、主に会場参加者の質疑から議論を深めます。</p> <p>【登壇者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁平 典宏さん（東京大学大学院教育学研究科(教育学部) 教授）※1 ・伊藤 章さん（NPO 法人 国際ボランティア学生協会 (IVUSA) 理事） ・鈴木 訪子さん（認定 NPO 法人 おもちゃの図書館全国連絡会 理事長） <p>【進行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田尻 佳史さん（認定 NPO 法人 日本 NPO センター 常務理事） |
| (15分) | 休憩 |
| 15:25～ 16:35 (70分) | <p>■オープンディスカッション（第2部） 第1部の議論をふまえ、第2部では登壇者（ボランティア活動を推進する方々）による討論と、主にオンライン参加者の質疑から議論を深めます。</p> <p>【登壇者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後藤麻理子さん（認定 NPO 法人 日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長） ・高橋 良太さん（(社福) 全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター長） <p>【進行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿部陽一郎さん（(社福) 中央共同募金会 常務理事・事務局長） ・永井 美佳さん（(社福) 大阪ボランティア協会 事務局長） <p>【会場からのコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁平 典宏さん |
| 16:35～ 17:00 (25分) | <p>■サマリー（要約）コメント 【登壇者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山崎美貴子さん（「広がれボランティアの輪」連絡会議 顧問） |
| 17:00 | 第1日終了 |

※1 仁平典宏さん 東京大学大学院教育学研究科(教育学部)教授、『「ボランティア」の誕生と終焉 〈贈与のパラドックス〉の知識社会学』（名古屋大学出版会）著者

【第1分科会】

多文化共生を考える～地域の支援者として活動する外国ルーツの人々を支える～

外国ルーツの人々や団体が、地域で暮らしていくなかで、「支援を受ける立場」から「支援する側」としてボランティアに活動する実践が各地で取り組まれています。本分科会では、活動のきっかけ、活動を進める上での地域社会との軋轢や葛藤の克服、現状や課題と可能性を実践報告を通じて明らかにし、多文化共生推進のためにボランティア・市民活動にできることを考えます。

1

【コメンテーター】

- ・上野谷加代子さん(「広がれボランティアの輪」連絡会議 会長/中央共同募金会 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成 審査委員長)

【実践報告】

- ・横田 能洋 さん(茨城県 認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事)
- ・石川 美絵子さん(東京都(社福)日本国際社会事業団 常務理事)
- ・松井リリアンさん(神奈川県(社福)横浜YMCA 福祉会 認定こども園YMCA いずみ保育園 保育士)

【進 行】

- ・伊藤 章 さん(NPO法人 ボランティア活動推進国際協議会日本(JAVE) 理事長)

【第2分科会】

あらためて学びたい、ボランティア・市民活動にとっての「広報」の大切さ

ボランティア・市民活動団体にとって、団体の活動を支援者に紹介していくことは、活動への理解や共感を広げるとともに、団体の活動を支える基盤にもつながります。また、支援者として関わるきっかけとなるかもしれません。この分科会では、ボランティア・市民活動団体が進めている広報について、活動実践におけるコミュニケーションのあり方を学びます。

2

【講義・コメンテーター】

- ・鹿野由利子さん(PR コンサルタント/千葉大学特任准教授(広報戦略担当))

【実践報告】

- (1) You tube チャンネル 立川社協動画チャンネルの取り組み
 - ・小林 伸匡さん(東京都(社福)立川市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターたちかわ 主事)
 - (2) SNS (Twitter、Instagram、Facebook など) による共感獲得をめざして
 - ・坂田 朋子さん(東京都(公財)風に立つライオン基金 事務局)
 - (3) 学生・若者にひびく PR・広報と距離の縮め方
 - ・白石 昌則さん(日本生活協同組合連合会 営業本部 関西支所)
- ※ 東京農工大学生協職員時代「生協の白石さん」として活躍

【進 行】

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議 企画・広報プロジェクトメンバー

【第3分科会】**居場所が拓く地域の絆****～地域の人々がつながり、新たに歩むための包摂の場所づくりとこれから～**

地域に居場所を設け、地域のさまざまな世代が交流することで、気づきやニーズを発見し、解決に向けて取り組む活動が全国で進められています。持続可能な地域づくりや利用者が抱える困難・課題を解決するために、多くの人々・団体がつながり、地域を縦割りではなく横串をさしていく居場所の活動は、地域をどのように変え、また、変える可能性があるのでしょうか。実践とディスカッションを通じて学びます。

3**【コメンテーター】**

- ・平野 寛治さん（一般社団法人 全国食支援活動協力会 専務理事）

【実践報告】

- ・栗野 泰成さん（東京都足立区 一般社団法人チョイふる 代表理事）
- ・柳澤 正敏さん（長野県上田市（社福）まるこ福祉会 理事長）
- ・松本真由子さん（高知県黒潮町 NPO 法人しいのみ あったかふれあいセンター にしきの広場 コーディネーター）

【進 行】

- ・鈴木 訪子さん（認定 NPO 法人 おもちゃの図書館全国連絡会 理事長／元・荒川区社会福祉協議会職員）

【第4分科会】**若者の活動者・推進者のホンネを聴く～若者との上手な付き合い方再考～**

主に 10 歳代から 20 歳代前半の若者が、彼・彼女らの視点で取り組むソーシャルなチャレンジ、自らが主体的に考え切り拓くボランティア活動や提言活動、社会参加活動の実践から学びます。また、若者の取り組みを応援し、協働する推進者が、どのようなまなざしを若者に向け、向き合っているのかについて話を聴きます。持続的な地域や社会の未来像に向け、ボランティア活動推進機関と若者との付き合い方について再考し、実践のヒントを得る機会とします。

4**【コーディネーター】**

- ・都築 則彦さん（千葉県 NPO 法人おりがみ理事長／千葉大学大学院人文公共学府博士後期課程）

【事例報告】

- ・千葉県 学生団体おりがみ 学生メンバー
- ・あや さん（東京都 NPO 法人サンカクシャで関わる若者メンバー）
- ・田中 美穂さん（広島県 カクワカ広島～核政策を知りたい広島若者有権者の会～ 共同代表）

【若者応援団によるてい談】

- ・都築 則彦さん
- ・荒井 佑介さん（東京都 NPO 法人サンカクシャ代表理事）
- ・安彦恵里香さん（広島県 カクワカ広島～核政策を知りたい広島若者有権者の会～ 発起人）

【進 行】

- ・笈川 卓也さん（(社福)中央共同募金会 基金事業部 副部長）
- ・永井 美佳さん（(社福)大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長）

| | |
|----------|---|
| 5 | 【第5分科会】 社協ボランティアセンターの「いま」と、これからのあり方を考える |
| | <p>社協ボランティアセンターは、従来のボランティア領域にとどまらず、有償の市民活動やコミュニティビジネスなどの活動形態の広がり、NPO法人や一般社団法人、株式会社などボランティアな活動に取り組む主体も多様化するなかで、これからの方向性を定めにくくなっている面があります。社協ボラセンは、これから何をめざし、どこに重点を置き、事業を進めていくのか、実践に関わるみなさんと考え、学び、今後の実践に活かします。</p> <p>【コーディネーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後藤麻理子さん（認定NPO法人 日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長） <p>【実践報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駒田 祥子さん（(社福)富山県黒部市社会福祉協議会 くらべボランティアセンター ボランティアコーディネーター） ・中田 繁美さん（(社福)愛知県豊田市社会福祉協議会 常務理事・事務局長） ・坂上 尚大さん（(社福)大阪府阪南市社会福祉協議会 地域福祉グループ主任／第一層生活支援コーディネーター） |

8. 参加対象

ボランティア・市民活動を推進する人々（NPO、中間支援組織、協同組合、教育・青少年団体、ボランティア受入施設・団体、企業・労働組合、社協担当者 等）、ボランティア・市民活動に参加している方、及び関心のある方

9. 参加費 ※一度お支払いいただいた参加費は、原則として返金できませんのでご了承ください。

| | |
|------------------------|--------|
| 11月18日(金)・19日(土)の2日間参加 | 5,000円 |
| いずれか1日のみ参加 | 3,000円 |

10. 参加申込方法（申込締切 2022年11月11日（金））

「広がれボランティアの輪」連絡会議ホームページからお申込みください。

<https://www.hirogare.net/> 広がれボランティア で検索

11. その他

- ・ 終了後の動画配信は行いません。またプログラムの録画はできません。
- ・ 申込時に記載の個人情報（氏名、所属、連絡先電話番号、Eメールアドレス等）は、会議運営に必要な範囲でのみ使用し、他の目的では使用しません。なお、氏名と所属は同じ分科会の参加者で共有します（分科会参加者名簿）

<お問い合わせ先> 「広がれボランティアの輪」連絡会議 事務局

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター内

電話 03-3581-4656 FAX 03-3581-7858 Eメール vc00000@shakyo.or.jp

本フォーラムは、社会福祉法人 中央共同募金会「公益信託 高橋保蔵記念福祉振興基金」による助成により開催します。

第1日 (11月18日(金)) 全体会会場 東京ウィメンズプラザ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67



第2日 (11月19日(土)) 分科会会場 全国社会福祉協議会 会議室

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5階

